



2022年2月9日

各 位

会 社 名 旭ダイヤモンド工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片岡 和喜  
(コード番号 6140 東証第1部)  
問合せ先 執行役員管理本部長 小浦雅美  
T E L (03) 3222-6311

### 通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年11月9日に公表しました2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）の連結業績予想及び期末配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期 通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

|                             | 売 上 高         | 営 業 利 益      | 経 常 利 益      | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想（A）<br>(2021年11月9日公表) | 百万円<br>37,200 | 百万円<br>2,360 | 百万円<br>2,720 | 百万円<br>2,240        | 円 銭<br>40.35   |
| 今回修正予想（B）                   | 37,300        | 2,540        | 3,170        | 2,610               | 47.01          |
| 増減額（B－A）                    | 100           | 180          | 450          | 370                 | —              |
| 増減率（％）                      | 0.3           | 7.6          | 16.5         | 16.5                | —              |
| (ご参考)前期実績<br>(2021年3月期)     | 30,143        | △732         | △337         | △331                | △5.97          |

#### 2. 通期連結業績予想修正の理由

当第3四半期連結累計期間におきましては、半導体や5G及びスマートフォン関連の需要が好調に推移したことに加え、各国の自動車生産も前年より改善傾向にあり、工作機械の受注や軸受生産が好調に推移したことにより、関連工具の売上は前年同期と比べ大幅に増加しました。

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましても、引き続き順調に推移する見込みであることから、上記の通り業績予想を修正いたします。

### 3. 2022年3月期 期末配当予想の修正

| 基準日                      | 年間配当金    |             |              |
|--------------------------|----------|-------------|--------------|
|                          | 第2四半期末   | 期末          | 合計           |
| 前回発表予想<br>(2021年11月9日公表) | 円 銭<br>— | 円 銭<br>8.00 | 円 銭<br>16.00 |
| 今回修正予想                   | —        | 11.00       | 19.00        |
| 当期実績                     | 8.00     | —           | —            |
| (ご参考)前期実績<br>(2021年3月期)  | 3.00     | 3.00        | 6.00         |

### 4. 期末配当予想修正の理由

当社の配当方針は、連結業績に応じた利益配分と継続的な安定配当を基本としております。

期末配当予想につきましては、この配当方針に基づき、上記記載の通期連結業績予想の修正を踏まえ、前回発表予想より1株当たり3円増配し、11円に修正いたします。

※上記の業績予想及び配当予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上